

# 福岡県立スポーツ科学情報センター 個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	64
施設所管課	教育庁教育振興部 体育スポーツ健康課

令和2年2月

❀福岡県❀

福岡県立スポーツ科学情報センター  
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

## 第1章 概要

### (1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡県立スポーツ科学情報センター		
所 管	教育庁教育振興部体育スポーツ健康課		
整 理 番 号	64	竣工年度	平成7年度
所 在 地	福岡県福岡市博多区東平尾公園2-1-4		
敷 地 面 積 ( m <sup>2</sup> )	30,898.83	建築面積(m <sup>2</sup> )	8,672.41
主 構 造	S R C	延床面積(m <sup>2</sup> )	23,685.00
主 要 建 築 物	スポーツ科学情報センター		

### (2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	県立スポーツ科学情報センター			
棟 番 ・ 枝 番	1014	-	1	竣工年度 平成7年度
建 築 面 積 ( m <sup>2</sup> )	8,672.41		延床面積(m <sup>2</sup> )	23,685.00
構 造 ・ 階 数	S R C 造 地上4階 地下1階			
各 階 面 積 及 び 用 途				
階別	階床面積(m <sup>2</sup> )	主 な 用 途 ( 室 名 他 )		
4F	2,282.37	宿泊室等		
3F	3,789.21	メインアリーナ及び研修室等		
2F	7,185.08	事務室等		
1F	7,458.18	駐車場及び機械室等		
B1	2,406.98	受水槽室等		

福岡県立スポーツ科学情報センターはとびうめ国体の開催を記念して、平成7年度に竣工しました。

福岡県の体育スポーツ振興の中核的役割を果たすことを目的として建設され、多くの方に利用されています。

### (3) 計画期間

計画期間は令和8年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



## 第2章 優先順位の考え方

### (1) 施設間の優先順位

当該施設は、築24年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。他の県有施設と比較して改修等を優先すべき個別事情は特にありませんが、施設を管理していく上で必要な対策を順次適切に行っていきます。

### (2) 施設内での優先順位

施設としては鉄骨鉄筋コンクリート造りによる建物で、アリーナやクライミングウォール、宿泊室などを備えた大規模な建築物です。

ボイラーについては内側に穴が開き、真空状態が保てずに運転が停止することがある等、営業に支障をきたしているため、優先的に対応していきます。

また、ダクトが腐食し、浴室の換気が十分にできずに湿気が多くなり、電気配線が腐食することにより、漏電の危険があるため、優先的に対応していきます。

その他、経年により劣化が進行している設備についても予防保全型管理のうえでの標準的な改修時期に合わせた計画的な改修を行っていきます。

### (3) その他

同一敷地内にある福岡県立総合プールと併せて「アクション福岡」の愛称で県民に親しまれています。

### 第3章 個別施設の状態等

#### (1) 個別施設の状態

屋上防水の劣化や排水部の土溜まり、外壁のクラック及び仕上材の浮きなど、外部は広範囲において劣化が見られます。内部においても各階で漏水痕が見られ、防水面での改修が必要とされます。

施設設備の不具合等が発見された場合には事後保全による修繕を行っていますが、予防保全による改修はできていない状況です。

#### (2) 建物全体の現存率

#### 建築物現存率調査票

施設名称	福岡県立スポーツ科学情報センター		建物名称	スポーツ科学情報センター					
所在地	福岡市博多区東平尾公園2-1-4		棟番・枝番	1014	-	1	築年数	24年	
建築年度	平成7年度		建築面積	8,672.41 m <sup>2</sup>		現存率	85.3	想定耐用年数	65年
構造・階数	SRC	3	延面積	23,685.00 m <sup>2</sup>					
区分	構成(P)		仕様	経過年数	現象(K)	×100	(PK)	$\Sigma PK / \Sigma P$	
構造	躯体	40	SRC	24	1.000	100.0	4,000.0	-	
	小計							4,000.0	100.00
主要部仕上げ	屋根・防水	20	アスファルト防水(B-2)	24	0.667	66.7	1,334.0	-	
	外壁	20	タイル	24	0.900	90.0	1,800.0	-	
	小計							3,134.0	78.35
電気設備	受変電設備	10		24	0.700	70.0	700.0	-	
	小計							700.0	70.00
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		24	0.700	70.0	700.0	-	
	小計							700.0	70.00
合計							8,534.0	85.34	

この結果、福岡県立スポーツ科学情報センターの現存率は、「85.3」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	S R C	100.0	耐震診断による Is 値 <sup>1</sup>	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	アスファルト防水(B-2)	67.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	・部分的にひび割れ や部材の劣化がある ・少数の部材に少し の劣化がある
			防水層の劣化	・部分的にひび割れ や部材の劣化がある ・少数の部材に少し の劣化がある
			経年（新設もしくは改修後）	経年 20 年以上
外壁	タイル	90.0	外壁のはく落、浮き、 ひび割れ等の劣化	・部分的にひび割れ や部材の劣化がある ・少数の部材に少し の劣化がある
			漏水の発生・痕跡の有無	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未 満
内壁	石こうボード EP タイル貼り モルタル EP	80.0	劣化	仕上げ材等の劣化が 多く認められるが、 部分修繕で対応可能
天井	吸音板 コンクリート打 放し 石こうボード EP モルタル塗り	60.0		
床	タイル貼り ビニールシート 張り	80.0		
建具	アルミ	100.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	特に問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
受変電設備	あり	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上

<sup>1</sup> Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
自家発電設備	自家発電設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
動力設備	動力設備	40.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明・ 火災報知設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
消火設備	消火設備	80.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
エレベーター 設備	エレベーター設 備	80.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上

○特殊設備の状態

調査部位	種類・形式等	現在の状況
音響映像システム	ミキサー 移動型プロジェクター パワーアンプ 140インチスクリーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成7年から更新されておらず、劣化が激しい。</li> <li>・波法の改正により、2022年11月30日以降ワイヤレスマイクが使用できなくなる。</li> </ul>
予約システム		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン、サーバーの老朽化が激しい。</li> <li>・故障した場合、交換部品が無い機器がある。</li> </ul>
ボルダリングシステム	木製	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木製パネルの劣化が激しい。</li> <li>・ホールドナットが抜ける恐れがあり、危険な状況である。</li> </ul>



(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
1995	24	新	—	—	—	—	65 年

経年による劣化は見られるものの、建物に大きな問題が無い為、福岡県立スポーツ科学情報センターの目標耐用年数を原則どおり 65 年（残年数 41 年）と設定します。

## 第4章 対策の内容等

### (1) 改修・更新について

築24年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は41年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

### (2) 対策の平準化について

優先順位を選定の上で費用や事務負担軽減を図る観点から平準化を行い、順次改修を行うこととします。

ボイラーが故障して動かなくなり、修理が完了するまで給湯できずに施設の運営に支障をきたすことがあるため、ボイラーの更新を実施します。

次に浴室のダクトが腐食し、浴室の換気が十分にできず、天井裏に湿気がたまり、そこにある電気配線が腐食し、漏電する恐れがあるため、ダクトの改修工事を実施します。

### (3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

(百万円)				
区分	項目	実施時期		
		令和元年～2年度	令和3～5年度	令和6～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	0	100	188
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	0	0	0
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	73	179	249
その他	音響映像システム等	10	63	23
	計	83	342	460

※上記は実際の前算や事業費等とは異なります。